

【大学間協定留学】留学近況報告書

記入日	2025年 11月 5日
留学先大学/国名	フィリピン大学ディリマン校(日本語名) 国名:フィリピン University of the Philippine Diliman(現地言語名)
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2025年8月～2025年12月
明治大学の所属学部等 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部
学年 ※出発時の本学での学年	3年生
I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。 <p>インターネットやこの留学報告書を活用しました。また、大学の寮以外の滞在についてはあまり情報がなかったため、以前同じ大学に留学していた先輩とメールで連絡を取るなどしました。</p>	
II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい	
ビザの種類: 観光ビザ(一ヶ月ごとに延長) + SSP(SSPのみでは不十分で、有効な観光ビザが必須) →1学期間留学の方は SSP、1年間留学の方は 47A2 を申請するのが一般的	申請先: 観光ビザの延長: 大学近くの SM north モール内の Bureau of immigration office (ほかにも何か所がある) SSP・47A2: 大学
ビザ取得所要日数: 観光ビザ延長: 3日 SSP: 3週間以内 (47A2 の場合は 5ヶ月) (申請してから何日 / 何週間要したか)	ビザ取得費用: 観光ビザ延長費: 一回約 ¥6,000(一ヶ月ごとに延長) SSP: 約 ¥30,000 (47A2 の場合は約 ¥25,000 で観光ビザの延長必要なし)
1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか? <ol style="list-style-type: none"> 1. 入国時の観光ビザは入国と同時に自動的に付与されるため何も必要ないです。こちらは、30日間有効です。 2. SSP の場合、入国から 30 日以内に観光ビザの延長をする必要があります。延長時に必要なものは、パスポートと SSP および前回延長時の領収書です。延長しても再び 30 日経てば無効になってしまうため、1ヶ月ごとに延長の必要があります。 3. SSP は到着後に大学側から配られる書類への記入と、パスポート、証明写真のみです。証明写真は何枚か日本から持ってくることをお勧めします。 	
2. 具体的な申し込み手順を教えて下さい。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Tourist Visa については何も手続きは必要なく、入国時にパスポートに押されるスタンプがその役割を果たします。 (ただし、日本を出国する際に 30 日以内にフィリピンから日本または他国へ出るチケットの提示が求められます。) 2. SSP については書類記入後、大学側がすべて手続きをしてくれます。受け取りも大学です。 	

3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

4. ビザ取得に関して困った点・注意点

1 学期間留学の方は SSP、1 年間留学の方は 47A2 を申請するのが一般的です。ただし、SSP の発行は 3 週間以内に完了するのに対して、47A2 は 5 か月ほどかかります。これは、申請時に提出するパスポートもその期間手元に戻ってこないことを意味するので、1 年間留学でもフィリピンを出る予定がある方は SSP にすることをお勧めします。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送等)。

海外キャッシング機能のあるカード。フィリピンはまだ現金が主流であるため、カードはそのまま決済用として使うよりもお金をおろす用途で使うことがほとんどです。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	JAL									
航空券手配方法	公式サイト ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入									
大学最寄空港名	ニノイ・アキノ国際空港		現地到着時刻	午前 5 時						
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input checked="" type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他 ()					
移動の所要時間	車で 1 時間									
空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等										
大学内の寮に滞在予定の方は、ピックアップサービスがあります。それ以外の方は、各自 Grab 等を呼ぶ必要があります。マニラは交通渋滞がひどいため、時間に余裕をもって移動することを強くお勧めします。										
大学到着日	8 月 4 日 10 時頃									

2. 住居について				
到着後すぐに住居入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方:	月	日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()			
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()			
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()			
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()			
住居の申込み手順	Airbnb			

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

私の場合 は就活と留学を両立させる必要があったため、一人でオンラインミーティングができる部屋の確保、そして部屋に Wifi 接続あることが絶対条件でした。そのため、大学内の寮ではなく近くのコンドミニアムを探しました。はじめは賃貸アプリや Facebook で探しましたが、最低 1 年契約の物件ばかりで交渉しても難しかったため、入退去日を自由に設定できる、かつ比較的安全な Airbnb で予約しました。大学からジブニーで 15 分ほどの距離にある Blue Residences というコンドミニアムに住んでいます。ここのほかにも、大学近くにはコンドミニアムはたくさんあります！

注意点：

友達は、Facebook でコンドミニアムの空き部屋を見つけ、フィリピンに来る前に家賃を支払済みでした。しかし到着後に連絡が取れず、詐欺だったそうです。一人暮らしを希望する方は、フィリピンはホテルも安いので、最初はホテルに滞在しながらいくつか内見をして住居を決めるのが安全かもしれません。

3. 留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかつた
日程	8 月 4 日(授業開始の一週間前)
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は？	ビザの取得方法や、大学内のジブニーの経路、年間スケジュールについて
留学生用 特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかつた
授業開始日	8 月 11 日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？ いつ、どこで、方法は？ 日数、料金は？ ラブルは？

ビザ以外はなし。

2. その他現地でした手続きは（健康診断、予防接種等）？ いつ、どこで、方法、日数、料金は？ ラブルは？

大学内での健康診断が必須。費用は無料で、授業開始前までに受診。

3. 現地で銀行口座を開設しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ ラブルは？

していない。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ ラブルは？

していない。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に（7月20日頃）

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に（ 月 日頃）

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることはありましたか？

あった なかつた

優先が「あつた」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかつた」方はどのように登録しましたか？

現地学生の登録が終わってから、留学生の登録期間になります。そのため、人気の授業は履修できない場合があります。

2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？ また希望通りの授業が取れましたか？

現地で変更・追加可能です。ただ、フィリピン大学の履修システムは現地学生からも批評が絶えないほどひどいです。

渡航前にオンライン申請が可能ですが、現地到着後も結果はまだ出ていない状態でした。私の場合は、上限にあたる4つの授業に申請して、そのうち2つ落選したため他の授業で枠が残っているものを探すのがとても大変でした。しかし、直接の交渉で何とかなるのもフィリピンの良いところです。学部に直接交渉したところ、オンラインでは枠がいっぱいでも無事登録できました。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入

	月	火	水	木	金	土	日
5: 00							
6: 00							
7: 00							
8: 00		授業		授業			
9: 00		授業		授業			
10: 00		授業		授業			
11: 00		授業		授業			
12: 00							
13: 00			授業		授業		
14: 00			授業		授業		
15: 00			授業		授業		
16: 00			授業		授業		
17: 00							
18: 00							
19: 00							
20: 00							
21: 00							
22: 00							
23: 00							
24: 00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般について等、自由に書いてください。

日常生活について：

私は一度フィリピンでの留学経験があったため、日本とはかなり異なる交通手段(ジプニー・トライシクル)や、初めての一人暮らしにも割と早い段階で慣れることができました。物価は日本よりも安く、特に食事は、学食やローカル屋台であれば一食 400 円ほどで済ませることができます。外食費がかなり安く済むため、自炊のメリットはあまりないかもしれません。

大学生活について：

フィリピン大学はとても広く、東京ドーム 100 個分あるそうです。一般のひとが多く利用するランニングコースや、大学の中にはラム街があります。授業は、英語とタガログ語が半々くらいで行われ、すべて 30 人以内の少人数で行われます。私はタガログ語を全くしゃべることができないため、ついていけないことがあります。クラスメイトはみんな優しく、私が困っていると翻訳してくれます。また、留学生については日本からの留学生が一番多く、私の年は 30 名ほどいるため困ったときは安心だと思います。そしてフィリピン大学は国立のトップ校であるため、現地の学生たちはとても優秀です。先生に授業中あてられると、回答が長すぎて先生が止めるほどスラスラ答えます(笑)。フィリピン人はとてもオープンな性格の人が多いため、友達はとても作りやすいです。また、フィリピン大学は留学生 3 人につき現地学生バディが一人ついてくれるので安心です。

課外活動について：

私は大学の授業以外に毎週ラム街を訪問して子供たちに教育支援活動を行っています。基本的に、日本人留学生を含む他国からの留学生と一緒に訪問しています。貧困や社会問題に興味のある方は、課外活動をやってみるのもいいと思います！一学期間の留学でもかなり濃い経験をすることができます。

就活について：

私はフィリピンからオンラインで就活を進めています。インターン参加のために帰国することもありました。往復 3 万円ほどで済むため、万が一の際に帰国しやすいです。こちらでは就活している人が一人もいないので孤独に感じることもありますし、学校の課題もありかなり忙しい毎日です。それでも、もし悩んでる方がいたら、両立はできることをお伝えしたいです！